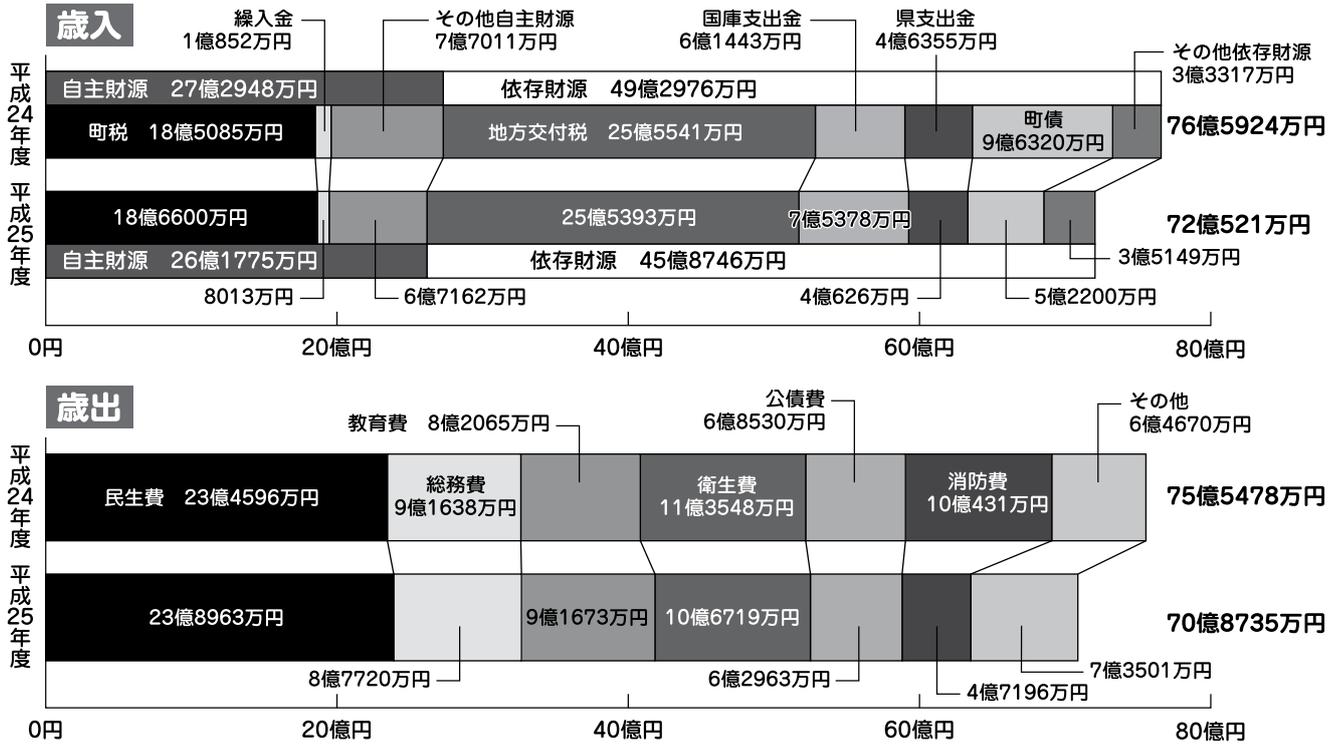


平成25年度決算

平成25年度の決算がまとまりました。みなさんに納めていただいた町税などでのような事業が行われたかをお知らせします。

平成24年度との決算額比較



決算の概要

大淀町には、一般会計と6つの特別会計があります。平成25年度は一般会計と特別会計を合算すると、歳入が11億8943万6千円、歳出が11億2783万3千円となりました。

このうち、一般会計は歳入が72億521万円、歳出が70億8735万円となり、歳入から歳出を差し引くと1億1786万円の黒字となりました。

この1億1786万円のうち、6528万円を平成26年度に実施する事業の財源として差し引くと、実質的な収支は5258万円の黒字となりました。

歳入の状況

自主財源の合計は26億1775万円で、平成24年度と比べ1億173万円の減収となりました。その要因は、繰入金が2839万円、諸収入が1億1059万円と、それぞれ平成24年度より減少したためです。諸収入は、平成24年度にあった南和広域衛生組合からの返還金がなくなったため大幅に減

少ししましたが、自主財源の中心である町税は平成24年度と比べ、1515万円の増加となりました。

依存財源の合計は45億8746万円で、平成24年度と比べ3億4230万円の減収となりました。これは町債(町の借金)が4億4120万円、県支出金が5729万円と、それぞれ平成24年度より減収したことが主な要因です。

町債は、地方交付税の振り替わりである臨時財政対策債や希望ヶ丘小学校改修工事、文化会館省工ネ改修工事の財源として借入いたしました。

基金・町債の現在高

基金の平成25年度末の現在高は50億3292万円となり、平成24年度末と比較すると9652万円の増加となりました。

また、町債の平成25年度末の現在高は67億2192万円となり、平成24年度末と比較すると1442万円の減少となりました。

歳出内訳(性質別)

区分	平成25年度	平成24年度	増減額
義務的経費	31億 794万円	30億9626万円	1168万円
人件費	14億 512万円	13億3660万円	6852万円
扶助費	10億7319万円	10億7436万円	△ 117万円
公債費	6億2963万円	6億8530万円	△ 5567万円
投資的経費	6億 395万円	10億2337万円	△4億1942万円
普通建設事業費	5億7150万円	9億7833万円	△4億 683万円
災害復旧事業費	3245万円	4504万円	△ 1259万円
その他の経費	33億7546万円	34億3515万円	△ 5969万円
物件費	9億8388万円	9億5554万円	2834万円
繰出金	8億8710万円	8億1725万円	6985万円
補助費等	13億4431万円	12億1825万円	1億2606万円
その他	1億6017万円	4億4411万円	△2億8394万円
合計	70億8735万円	75億5478万円	△4億6743万円

その他歳出内訳

	平成25年度	平成24年度	増減額
土木費	5億 537万円	4億 498万円	1億 39万円
議会費	9585万円	9577万円	8万円
農林水産費	8004万円	7408万円	596万円
災害復旧費	3245万円	4504万円	△1259万円
商工費	2130万円	2683万円	△ 553万円
その他合計	7億3501万円	6億4670万円	8831万円

歳入内訳

	平成25年度	平成24年度	増減額	
町税	固定資産税	8億6527万円	8億6646万円	△ 119万円
	町民税	8億 852万円	8億1274万円	△ 422万円
	たばこ税	1億4822万円	1億2848万円	1974万円
	軽自動車税	4399万円	4317万円	82万円
	合計	18億6600万円	18億5085万円	1515万円
	その他の自主財源	使用料・手数料	1億5995万円	1億5916万円
諸収入		1億5319万円	2億6378万円	△1億1059万円
分担金・負担金		1億2589万円	1億2987万円	△ 398万円
財産収入		1億 90万円	1億1060万円	△ 970万円
繰越金		8379万円	6966万円	1413万円
寄附金		4790万円	3704万円	1086万円
合計		6億7162万円	7億7011万円	△ 9849万円
その他の依存財源	地方消費税交付金	1億5189万円	1億5320万円	△ 131万円
	地方譲与税	6710万円	6806万円	△ 96万円
	ゴルフ場利用税交付金	5658万円	6000万円	△ 342万円
	株式等譲渡所得割交付金	2281万円	189万円	2092万円
	自動車取得税交付金	2010万円	2216万円	△ 206万円
	配当割交付金	1396万円	783万円	613万円
	地方特例交付金	1006万円	1082万円	△ 76万円
	利子割交付金	672万円	684万円	△ 12万円
	交通安全対策特別交付金	227万円	237万円	△ 10万円
	合計	3億5149万円	3億3317万円	1832万円

平成25年度に行った主な事業と決算額

平成25年度に実施した主な事業とその主な内容をお知らせします。

文化会館省エネ改修工事 1億2104万円

平成8年に開館した文化会館の空調設備等の大規模な改修工事を行いました。

希望ヶ丘小学校改修工事 9030万円

希望ヶ丘小学校の体育館改修、スロープ設置工事を行いました。

西部119号線歩道設置事業 6863万円

歩行者の安全と地域住民の生活の向上を図るため、西武119号線の歩道整備を行っています。

大淀幼稚園解体工事 1485万円

中央公民館駐車場整備工事 698万円

町立大淀幼稚園の解体撤去工事を行い、その跡地を活用するため、駐車場整備工事を行いました。

繰出金

- ①後期高齢者医療特別会計 2億5844万円
- ②介護保険特別会計 2億2893万円
- ③下水道事業特別会計 2億2000万円
- ④国民健康保険事業特別会計 1億8010万円

補助費等

- ①中吉野広域消防組合負担金 4億1877万円
- ②大淀病院事業会計負担金 3億2998万円
- ③南和広域衛生組合負担金 2億9257万円
- ④南和広域医療組合負担金 2994万円

用語の説明

扶助費

児童手当法などの法令に基づいた児童手当などの支給や、町が単独で行う各種扶助のためのお金

普通建設事業費

道路や学校など公共施設の整備のためのお金

繰出金

国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、下水道事業特別会計の4つの特別会計への一般会計の負担分

補助費等

ごみ処理施設などの一部事務組合に対する負担金および町内の各種団体に補助するための費用など

公債費

国や金融機関などから借りたお金の返済金とその利息の支払いのためのお金

町税(自主財源)

町が賦課徴収する税金

繰入金(自主財源)

おもに基金(町が蓄えている貯金)を取り崩したお金

地方交付税(依存財源)

町の面積や人口などの規模に応じて国から配分されるお金

臨時財政対策債(依存財源)

国から交付される地方交付税が交付されるべき額より不足した場合に、不足分を補うために発行できる地方債のこと。その償還金は後の年度の地方交付税に算入されるため、実質は地方交付税の代替財源。

国庫支出金・県支出金(依存財源)

特定の事業の財源として、国・県から交付されるお金

平成25年度 特別会計決算

住宅改修資金等 貸付金特別会計	歳入	2330万円	実質収支は19万円の黒字で、翌年度に19万円を繰り越します。
	歳出	2311万円	
国民健康保険 事業特別会計	歳入	21億2433万円	実質収支は60万円の黒字で、財政調整基金に60万円を繰り入れました。
	歳出	21億2373万円	
後期高齢者医療 特別会計	歳入	1億7439万円	実質収支は4万円の黒字で、翌年度に4万円を繰り越します。
	歳出	1億7435万円	
介護保険 特別会計	歳入	16億951万円	実質収支は30万円の黒字で、財政調整基金に30万円を繰り入れました。
	歳出	16億921万円	
公園墓地事業 特別会計	歳入	1009万円	実質収支は2万円の黒字で、翌年度に2万円を繰り越します。
	歳出	1007万円	
下水道事業 特別会計	歳入	7億4753万円	差引残高4752万円のうち、翌年度繰越事業の財源として50万円繰り越すため、実質収支は4702万円となりました。 なお、平成26年4月1日からの地方公営企業法の適用に伴い、出納整理期間の歳入・歳出額を含まない打ち切り決算としました。
	歳出	7億1万円	

水道事業会計

収益的収入	3億4749万円
収益的支出	3億3049万円
資本的収入	1億1462万円
資本的支出	1億6929万円

平成25年度末では、8,018件(量水器取付件数)、1万8994人に給水を行っています。

建設改良事業では、公共下水道事業に伴う配水管移設工事、吉野平地内配水管改良工事および福神地内配水管布設工事等を施工しました。

今後も経営の効率化と健全化を行い、「安全でおいしい水」の安定供給に努めていきます。

病院事業会計

事業収益	24億4901万円
事業費用	26億9404万円
資本的収入	1億4580万円
資本的支出	1億9969万円

当年度の事業状況は、入院患者数 3万9739人(1日平均108.9人)、外来患者数 10万6230人(1日平均392.0人)となりました。

病院経営は厳しい状況が続いておりますが、南和新病院体制への移行まで、地域医療の堅持と質の高い医療の提供に努めていきます。

ふるさと応援寄附の運用状況について

平成25年度に大淀町ふるさと応援寄附金として総額4790万4000円(61件)の寄付をいただきました。ありがとうございました。

健全化判断比率等

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が平成19年6月に公布され、これにより地方公共団体は、毎年度、健全化判断比率と資金不足比率を公表することとなりました。

地方公共団体は、この健全化判断比率が、「早期健全化基準」、「財政再生基準」を超えると、財政健全化または財政再生計画を策定・公表し、それに従って財政健全化を進めていくこととなります。

実質赤字比率

一般会計等の赤字額が町の標準的な収入に占める割合を指標化したものです。財政運営の深刻度を示すもので、平成25年度においても黒字であったので、該当なしとなりました。

連結実質赤字比率

公営企業の資金不足額も含めた、すべての会計の赤字額が、町の標準的な収入に占める割合を指標化したものです。平成25年度においても黒字であったので、該当なしとなりました。

実質公債費比率

町の借入金の返済にかかる費用が、町の標準的な収入に占める割合を指標化したものです。平成25年度は6.9%と前年度より0.5ポイントの良化となりました。

将来負担比率

一般会計等が現時点で将来にわたり負担していくと考えられる額が、その年の標準的な収入に対してどれくらいかを指標としたものです。平成25年度においても将来的な負担額よりも資産が多くなったため、該当なしとなりました。

資金不足比率

公営企業における資金不足の額が公営企業の事業規模に占める割合で、経営状況の深刻度を示すものです。平成25年度においても水道事業、病院事業、下水道事業ともに資金不足ではないため、該当なしとなりました。

	健全化判断比率		早期健全化基準	財政再生基準
	平成24年度	平成25年度		
実質赤字比率	—	—	15%	20%
連結実質赤字比率	—	—	20%	30%
実質公債費比率	7.4%	6.9%	25%	35%
将来負担比率	—	—	350%	—

	資金不足比率		経営健全化基準
	平成24年度	平成25年度	
下水道事業	—	—	20%
水道事業	—	—	
病院事業	—	—	